

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は、新たに3件の文化財(美術工芸品)を大分県指定文化財に指定し、地域の文化財保存を進めた。 ・県内の遺跡の発掘調査(下郡遺跡群等)を行い、記録保存に向けて遺物の収集や測量などを行った。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・佐伯市で、地域の宝ウォーキングを開催した結果、当日は36人が参加し、佐伯市城下町の文化財を巡り、文化財保護への理解を深めるとともに関心を高めた。 ・先哲史料館において、秋季企画展「大友文書の世界」を開催し、中世の大分県域を支配した大友氏に宛てられた手紙を多数展示し、大友氏の魅力や歴史的意義を広く発信した。 ・歴史博物館において、特別展「竹ものがたり」を開催し、竹産業が豊かに根付いたおおいの地で、日本をはじめアジア諸国で使用された竹製品や芸術作品、美術作品等幅広く紹介することで、暮らしや芸術など様々な場面で親しまれてきた竹の魅力を発信した。 ・埋蔵文化財センターにおいて、初めてサマーフェスタを開催するなどして好評を博した。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財をデジタル・アーカイブ化した「おおい文化財ずかん」を作成したことで、身近に触れることができるようになった。(R5年度末時点累計公開数:約950点) ・「子ども学芸員」体験に参加した6校のうち3校においてモデル的な取組として、市町村と連携し、地元の資料館などで展示を行った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(5年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①② ③	活かして守る大分の文化財保護推進事業	80.0	346
③	先哲史料活用推進事業	318.3	346

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○令和5年度第2回文化財保護審議会(R5.12)</p> <p>・「おおい文化財ずかん」は、検索機能等の機能充実を進めてほしい。また、関係機関や県内市町村のデジタル・アーカイブとも連携していただきたい。</p>	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の地域計画作成を支援し、R3.3に策定した「大分県文化財保存活用大綱」の基本理念「地域とともに活かして守る大分の文化財」の実現を図る。 ・文化財のデジタル化を推進し、いつでも・誰でも・どこからでも文化財を見ることができる体制を構築する。 ・小学校での地域学習や特別支援学校での出張展示等を実施し、子どもたちが文化財の多彩な魅力に触れる取組を行う。 ・映像記録の作成や連絡協議会・研修会を開催することで、民俗文化財の活用・継承を推進する。